

船橋 YMCA 通信



No. 82 2015年1月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



あけまして

おめでとうございます

今年が皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

千葉YMCA船橋地域デポ運営委員一同

2015年も“地域の触媒”

としての活動を続けます

船橋YMCAは、10年以上前からチャリティーランに車いすで参加いただいている「船橋市障害者友の会」の障がいを持つ方々および「車椅子レクダンス普及会(矢車草)」のメンバーの方々のご協力をいただきながら、船橋市内の小中学校の『障がい体験教室』の企画・実行のお手伝いをしています。

毎年同じ事を書いています、この活動は、船橋YMCAが、地元地域に密着した運動の触媒となって子どもたちに貴重な体験をプレゼントしているもので、今年も続けて行きたいと思っています。

障がい体験教室を開催

2014年11月18日(火)に夏見台小学校で、12月2日(火)に八栄小学校で障がい体験教室を開催しました。2014年度はすでに2校で開催していますので全部で4校での開催になりました。

11月18日の夏見台小学校では4年生123名が3つのグループに分かれて、車いす体験、視覚障がい体験および高齢者擬似体験を順番に体験しました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、船橋市障害者友の会2名、車椅子レクダンス普及会矢車草のメンバー8名と千葉YMCA高等学院の生徒と教

師8名でした。



《夏見台小の車いす体験の様子です》

車いす体験の指導者は、普段の生活で車いすを使用している船橋市障害者友の会の皆さんと車いすレクダンス普及会矢車草の方々です。



《夏見台小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手の袖を軽くつかんで白杖を使って歩きました。



《夏見台小の高齢者擬似体験の様子です》

高齢者擬似体験は、足首に重りをつけて、白内障を擬似するための視野が狭く見え景色も不鮮明になるメガネをかけて、利き腕のひじには動きにくくする肘あてをつけたうえで、杖をついて跳び箱を上り下りしました。

12月2日の八栄小学校では5年生166名が車いす体験と視覚障がい体験をしました。ご協力いただいたボランティアの方々は、船橋市障害者友の会3名、車椅子レクダンス普及会矢車草6名と千葉YMCA高等学院の生徒と教師9名でした。



《八栄小の車いす体験の様子です》



《八栄小の視覚障がい体験の様子です》



《最後に車いすを使用している方の話を聞きます》

体験教室の最後は、日常生活で車いすを使用している障がい者の方から、どんなことで困るのか、どんな手助けがうれしいのかといったお話をうかがいます。その後は、児童から色々な質問が出て、それに障がい者の方が答えてくださいます。

船橋市主催の「ようこそ市民活動ふれあい広場へ」に参加します

2015年1月31日にJR船橋駅南口のフェイスビル5階で開催される、船橋市の平成26年度市民活動推進イベント「ようこそ市民活動ふれあい広場へ」に他の43団体とともに船橋YMCAも参加します。

当日は、11時～17時の間、パネル展示とブースで船橋YMCAの活動の紹介とボランティアの募集を行います。ブース番号は1番ですので、皆様どうぞお越しください。お待ちしております。

千葉YMCAクリスマスフェスタに出店



《千葉センターのクリスマスフェスタの様子》

12月7日(日)に千葉センターで開かれたクリスマスフェスタでお店を出しました。この日の売り上げは3,060円で、半分を東日本大震災復興支援募金に、残りの半分を次回のチャリティーランの sponsor 一代の一部に積み立てました。

船橋YMCA活動記録

- ・ 11月4日(火) チャリティーラン事務局会
- ・ 11月8日(土) チャリティーラ評価会
- ・ 11月17日(月) 常議員会
- ・ 11月18日(火) 夏見台小障がい体験教室
- ・ 12月2日(火) 八栄小障がい体験教室
- ・ 12月7日(日) 千葉センター クリスマスフェスタ出店

編集後記

障がい体験教室は、船橋地域の障がい者と学校の生徒・児童を結ぶ貴重な活動で、その効果として八栄小学校と夏見台小学校の体育館の入り口には車いす用のスロープが設けられました。他の学校にも効果が波及することを期待しています。(槇)